

輸出事業計画

※申請者名：三重県醤油味噌工業協同組合

品目：醤油（天然醸造醤油含む）

1. 輸出における現状と課題

【醤油市場について】

- 三重県の醤油生産量は全国8位
- 国内醤油市場は縮小傾向（2000年前後から約半減）
- 海外醤油市場は拡大傾向（日本食ブーム・和食人気の高まり）
- アメリカ合衆国及び中華人民共和国の2国で全体の27.8%のシェア

出典：しよゆ情報センター『醤油の統計資料 2022年実績』

【輸出の現状】

- 日系大手企業や中国企業などとの競合激化により、輸出量低迷
- 「三重県」産では、競合他社との差別化要因にならず、競争劣位

【課題】

① 対象国のニーズに沿った製品開発

- ・現状、国内展開の製品をそのまま輸出
- ・対象国向けのニーズを調査・分析、ニーズに沿った製品開発の必要性

② 輸出対象国への販路拡大

- ・組合が有する海外向けの販路は、HS貿易合同会社を通しての間接輸出
- ・現状は、組合員が個々に販路開拓し、輸出。連携したPR・商品展開の必要性

2. 輸出事業計画の取組内容

【計画内容】

【天然醸造醤油】を中心とした三重県産醤油の輸出強化を図る

※天然醸造醤油：麹菌と蔵付酵母のみで発酵熟成させ、且つ四季の寒暖のみで熟成させる為、300日以上熟成期間を要する製法でつくられた醤油

強み：天然醸造醤油を展開する組合員が7社あり、他府県と比較して大規模

機会：輸出国における健康志向の高まり

【取組内容】

※ターゲット国はアメリカ合衆国及び中華人民共和国、台湾とする

① 消費者ニーズの把握、および訴求ポイントを明確にした製品開発

- ・市場調査の分析をもとに最適な「味」「香り」「使用方法の嗜好」を明確化する
- ・対象国向けの醤油製品を各組合員企業が開発する
- ・醤油だけでなく、醤油2次加工品の開発も行なう
- ・開発検査体制強化のための設備投資、外部人材の採用を進める

② 国内外の展示会出展・バイヤーとの連携強化

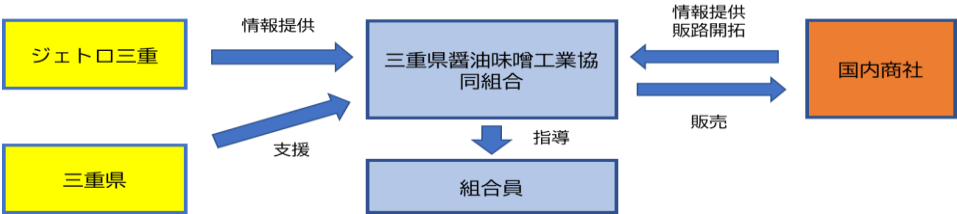
- ・FOODEX等国内展示会のほか、SIAL CHINAなど海外展示会にも積極出展する
- ・JETROやHS貿易合同会社による販路開拓支援のもと、海外商社や現地バイヤーとの取引獲得を図る

輸出事業計画

※申請者名：三重県醤油味噌工業協同組合

品目：醤油（天然醸造醤油含む）

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



	内容
P	・JETROや国内商社の情報提供をもとに、ターゲット国の市場調査・ニーズ把握の実施 ・ニーズに基づく製品開発計画の策定 ・事業スケジュールの策定
D	・組合員と連携し、輸出対象国向けの新製品を開発 ・国内外の展示会出展、バイヤーとの商談 ・製品開発・研究体制強化のための設備投資
C	・進捗状況の把握 ・課題解決の取組における効果の検証
A	・改善内容の検討 ・JETRO、国内商社からのフィードバックを通じて現地消費者の求める製品製造・改善に着手

4. 輸出目標額

※輸出先国と輸出する農林水産物・食品の現状及び目標金額を記載すること

	現状（令和3年度）	目標年（令和7年度）
輸出額（円）	2,000,000	6,321,600
輸出量（KL）	7	43
輸出先国	アメリカ合衆国	
	現状（令和3年度）	目標年（令和7年度）
輸出額（円）	18,000,000	18,216,000
輸出量（KL）	65	103
輸出先国	中華人民共和国	
	現状（令和3年度）	目標年（令和7年度）
輸出額（円）	-	21,600,000
輸出量（KL）	-	46
輸出先国	台湾	
	現状（令和3年度）	目標年（令和7年度）
生産量（KL）	72	192